

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
15	荻田 丈仁（21）	<p>1. 東部土地改良区内の富士山ビューポイントの整備及び富士山れんげまつりの取り組みへの支援について</p> <p>富士市は富士山の眺望が美しいまちとして今までさまざまな施策を進めてきている。その中での観光施策として実施している富士山百景写真コンテストや富士山百景写真展に加え、観光客が本市へ足を運びたいくなる新たな仕組みづくりとして、過去の富士山百景写真コンテスト応募数で上位の撮影エリアを富士山ビューポイントとして設定し、巨大なピン型のオブジェとエリア情報を掲示したサイン板の設置や一部眺望ポイントの整備を進めている。そのビューポイントでもある東部地域の田園風景が広がる土地改良区内から見る富士山は、新幹線が通過することで富士山と新幹線の写真が撮れることでも知られている。以前より富士山と新幹線の写真を撮影するために多くの人々が訪れているが、かねてより一部の田んぼにレンゲがまかれていたが、地域の有志により農家と協力して新たな田んぼにさらに種をまいたことにより、現在では春になると昔の原風景であったレンゲ畑が広がり始めている。そのレンゲ畑においては、実行委員会が組織され富士山れんげまつりが開催されており、富士山と新幹線にレンゲが加わり「富士山と新幹線とレンゲ」の眺望ポイントとしての発信がされている。今まで行われてきた富士山れんげまつりを盛り上げることは、富士山がきれいに見えるまちとしてのシティプロモーションはもちろん、レンゲ畑に協力する農業者の支援や観光誘客にもつながると考える。今後も、富士市を代表する富士山ビューポイントとして多くの人々が訪れる可能性が高いため、土地改良区内の富士山と新幹線のビューポイントや見せる農業へのさらなる魅力づくりは必要なことである。市としても大淵笹場同様に駐車場やトイレ等を含めた東部土地改良区内で環境整備や富士山れんげまつりの取り組みへの協力を考えなければいけないときが来ていると考える。</p> <p>また、富士山ビューポイントの整備推進や情報発信は東部地域のその他の施設等との連携による回遊性の増した魅力ある観光施策に取り組めると思われるので以下の質問をする。</p> <p>(1) 富士市の富士山ビューポイントとしての整備状況はどのようなになっているのか、富士山百景写真コンテストの参加状況を含め整備後の効果はどのようなものか。</p> <p>(2) 富士山と新幹線で知られる東部土地改良区内のビューポイント整備として。</p> <p>① 写真撮影に訪れている人たちが路上駐車せざるを得ない状況への対応をどのように考えているのか、また、今後、田中新田中里線（3号幹線）の道路整備を進める中で、路肩への駐車スペースの確保をあわせて計画してほしいがいかがか。</p> <p>② トイレやごみ箱の設置は考えられないか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
15	荻田 丈仁（21）	<p>③ 富士山ビューポイントとしてピン型のオブジェが設置されている東部市民プラザを拠点として観光対応やイベント等での連携活用を進めるための整備はできないか。</p> <p>④ 土地改良区内のビューポイントをわかりやすく示す必要があると思うがいかがか。</p> <p>⑤ 浮島沼釣り場公園を富士山眺望スポットとして位置づけて整備すべきと思うがいかがか。</p> <p>(3) 富士山がきれいに見える場所での景観形成や保全としても優良な田園風景の維持や原風景としてレンゲ畑の拡大を進める上の農業者への支援はできないか。</p> <p>(4) 富士山と新幹線とレンゲのビューポイントや既に3回開催されてきた富士山れんげまつりをどのように評価しているのか、また、富士山れんげまつりについて市として支援することは考えられないか。</p> <p>(5) 優良な田園地帯に富士山と新幹線それにレンゲが加わったビューポイントとして今後、富士バンジーや浮島ヶ原自然公園等との回遊性を持たせた観光施策を進めるべきと思うがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	山下いづみ（10）	<p>1. 在宅歯科保健の推進と在宅歯科診療の充実について</p> <p>今月4日から10日までの歯と口の健康週間では、歯の健康に関する知識の普及や、歯科疾患の予防のための早期発見、治療を呼びかける啓発事業が全国で行われた。富士市では、6月4日に「歯っぴい健口フェスタ」が開催された。親子への歯の健康啓発は80歳まで20本の自分の歯を持つ、8020運動が提唱されており、予防に向けたすばらしい取り組みである。しかし、近年、要介護者や高齢者の歯の健康、口腔ケアのニーズが高まってきている。要介護者や高齢者が虫歯になってしまうと、認知症になりやすくなる、誤嚥性肺炎になるリスクが高まる、歯周病からさまざまな病気を引き起こす等、健康被害が生ずるおそれがある。要介護者の約9割に歯科治療または専門的口腔ケアが必要という結果が出ている（平成26年9月、第3回医療介護総合確保促進会議資料）。平成27年には静岡県在宅歯科医療推進室が開設され、相談件数が初年度の59件から、平成28年度には約2倍の115件になっていることから関心の高さがうかがえる。要介護者、高齢者の健康維持、そして、家族の負担の軽減、また予防と早期対応の観点から在宅歯科保健と在宅歯科診療の環境整備が急務であると考え。そこで、以下3点について質問する。</p> <p>(1) 歯の健康啓発状況はどのようなか。また、高齢者の健康維持のために啓発強化が望まれるが今後、どのような啓発方法をとっていくのか。</p> <p>(2) 訪問による歯科健診や歯科保健指導を行う在宅歯科保健推進を市の事業として取り入れてはどうか。</p> <p>(3) 要介護者や高齢者の在宅歯科診療の状況はどのようなか。また、介護と医療の在宅連携体制はどこまで進んでいるのか。</p> <p>2. 富士山かぐや姫ミュージアムと広見公園の観光整備について</p> <p>昭和56年に設立された富士市立博物館は、富士市の歴史や文化を知ることができる紙資料、歴史資料、民俗資料、美術・工芸資料を多く所有している。平成28年4月29日にはリニューアルし、富士山かぐや姫ミュージアムとしてスタートした。平成29年3月5日には入館5万人を達成し、最近では大型バスでの来館者がある。ミュージアムと直結した広見公園散策も含めて、これから市内外、国内外からの来場者が期待できる。多くの人々が足を運びやすくなるように、ゆっくりと鑑賞、散策していただけるよう来場者へのサービスの改善をし、富士山かぐや姫ミュージアムと広見公園の持つ、文化的価値を広く周知されていくことを期待する。そこで、以下4項目6点について質問する。</p> <p>(1) 来場者の交通機関について</p> <p>① 大型バス対応の駐車場は十分であるか。早急の対策が必要ではないか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
16	山下いづみ（10）	<p>② 施設と富士駅・新富士駅間を結ぶ臨時バス（仮称）富士山かぐや姫ミュージアム号を検討してはどうか。</p> <p>(2) 来場者の憩いの場について</p> <p>① 広見公園内にカフェ&レストランを設置してはどうか。</p> <p>② 期間限定でキッチンカーによる販売を検討してはどうか。</p> <p>(3) 広見公園ふるさと村歴史ゾーンの説明看板に英語表記を加えては。また、QRコードでの多言語対応も考えてはどうか。</p> <p>(4) 富士市出身の市内外で活躍した先人が一覧できるパネルを作成して、富士山かぐや姫ミュージアムに常設展示をしてはどうか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
17	小沢 映子（20）	<p>1. 教育プラザの利用について</p> <p>教育プラザがオープンして3年目に入った。青少年教育センター、青少年相談センター、特別支援教育センター、教育研修センターの4つの機能を持った教育複合施設として設立された教育プラザの利用状況について質問する。</p> <p>(1) 教育プラザの4つのセンターは、それぞれ個別に独立したビルのテナントのような考え方でよいのか、それとも互いに連携し合う1つの組織として捉えてよいのか。</p> <p>(2) 施設全体の責任者は誰になるのか。</p> <p>(3) かなりの部屋数があるが利用率はどれくらいか、有効に利用されているのか。</p> <p>(4) 教育研修センターでは教員の負担にならないよう、やらされ感のない研修内容にしていくとのことであったが、研修を受けている教員からの評価はどうか。</p> <p>(5) 自己点検評価に関する外部評価があったと思うが、教育プラザに関しての評価はどうか。</p> <p>2. 子どもの居場所、フリースペースについて</p> <p>家庭や学校に居場所がない、地域とのつながりも薄い、そんな時代の中で安心して成長できる場が求められている。</p> <p>ステップスクールで対応している児童生徒は、330人のうちの47人で不登校児童生徒全体の20%にも満たない。つまり、不登校の大半の子どもの行き場所が公的には用意されていないわけで、こうした従来から山積している課題、昨今の貧困という現状などを勘案すると、これは行政課題であると言わざるを得ない。</p> <p>平成28年9月不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）が出ている。家庭への支援、不登校児童生徒に対する多様な教育機会の確保、中学校卒業後の支援も盛り込んでいる。</p> <p>平成28年9月議会では、今後、法案の行方を見ながら教育委員会としては対応していきたいとの回答であったので、以下質問する。</p> <p>(1) 文科省の通知に盛り込まれた、家庭への支援、多様な教育機会の確保、中学校卒業後の支援について、富士市ではどのように対応するのか。</p> <p>(2) 学校外で多様に育ち・学ぶ場としてフリースペース（子どものたまり場）が注目されている。フリースクールよりも、より複雑な問題を抱えている子どもたちが多く集まってくる。1人1人が、それぞれのペースで自分を大切にできる。誰もが「生きている、ただそれだけで祝福される」そんなフリースペースについて見解を伺う。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
18	笠井 浩（19）	<p>1. 富士市の放課後児童クラブの今後の運営について</p> <p>放課後児童クラブの歴史は古く、一説によると、明治37年に婦人会が子どもを預かったのが最初だと言われている。</p> <p>その後、児童福祉法、社会福祉法、子ども・子育て支援法に規定され、事業の質の確保を図るために厚生労働省は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を策定、放課後児童クラブガイドラインの作成を経て平成27年には、放課後児童クラブ運営指針（以下「指針」という。）を策定し、現在では対象年齢を小学生全体に広げ、放課後児童支援員の資格化、職員の処遇改善のための方策等が実施されている。</p> <p>放課後児童クラブは設立当初、単に放課後、小学生を二、三時間預かればよいという考え方もあったが、指針では、子どもの健全な育成と遊び及び生活の支援（以下「育成支援」という。）を趣旨としており、放課後児童健全育成事業の運営主体は、各放課後児童クラブの実態に応じて創意工夫を図り、放課後児童クラブの質の向上と機能の充実に努めなければならない。としている。</p> <p>最近、指針についての解説書が発行され、119ページ7章33項目にわたり、内容はきめが細かく、幅の広いものになっている。</p> <p>内容を抜粋すると、育成支援は、地域社会と連携をとりながら行う。発達段階に応じて行う。年齢の異なる子どもに対して行う。常に保護者と密接な連携をとりながら行う。保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事等を両立できるように行う。1人1人の心身の状態を把握しながら行う。としている。</p> <p>支援員については、常に自己研鑽に励みながら必要な知識及び技能をもって育成支援に当たる。子どもの人権に十分に配慮する。研修等で得た学びは職場内で共有する。子どもや保護者の苦情に対して迅速かつ適切に対応し解決する。また記録する。連絡帳をつける。保護者の迎えのときに子どもの様子を伝える。施設整備や遊具等の安全点検、整理整頓、清掃を毎日子どもたちが来所する前に行う。子どもたちの状態を把握し共有する。子どもたちのけんかなどのときには子どもたちの葛藤の調整や、感情の高ぶりを和らげるように適切に援助する。いじめがないように配慮する等々、衛生管理や倫理規定まで、かなり専門性の高い内容となっている。</p> <p>富士市でも、48の放課後児童クラブが運営されており、今後、どのような方向性を持って運営するのか、以下質問する。</p> <p>(1) 国は、学校は勉強を教える場、児童クラブは遊びを通じて人を育てる場と考え、しっかりとした育成支援の仕組みをつくらうとしている。富士市の放課後児童クラブも目指す方向を明確にすべきだと思うがいかがか。</p> <p>(2) 国は児童クラブの支援員の処遇改善を明確に打ち出し、処遇改善のための補助制度まで設けている。力のある支援</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
18	笠井 浩（19）	<p>員を育て、児童の育成支援の場として確かな仕組みをつくるためにこうした補助を活用し、支援員の待遇を上げていくべきだと思うがいかがか。</p> <p>(3) 現状でも苦情処理や保護者との連絡、学校との連絡、地域との交流等々、かなりハイレベルな対応が要求されているが、富士市の要領によると、開所時間は学校のある日は3時間以上としているが、主任支援員の労働時間をどのように考えているか。</p> <p>(4) 国の指針を満たすクラブが富士市にあるか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	笹川 朝子（3）	<p>1. 富士市の子育て支援事業について</p> <p>平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートしました。子ども・子育て新システムと呼ばれていましたが、平成24年に法律が公布され、それ以降、政府は子ども・子育て支援新制度と呼んでいます。</p> <p>新制度は、待機児童の解消や子育て環境を充実させることを目的に、実施主体は市町村で、施設型給付事業と地域型保育給付事業となっています。</p> <p>施設型給付事業は、保育所や幼稚園、認定こども園など従来の施設で、地域型保育給付事業は、主にゼロ歳から2歳までの乳児を対象にした事業で、小規模保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業の4種類がありますが、認定申請、契約などの手続きが求められます。</p> <p>保護者は近くの園に入園できることを切に願っていますが、いっぱい入園を見送った人もいますし、兄弟が別々の入園になった人もあります。</p> <p>新制度は、保育条件の切り下げを打ち出し、小規模保育事業所は分類によっては、保育士の資格がなくてもいいとしています。専門家からは保育の質が低下すると懸念されています。</p> <p>「三つ子の魂百まで」のことわざがあるように、3歳までの保育は大変大事なものです。保育を受けることは、子どもの権利。いつでも、どの子どもでも入れる保育園を保障していくことは行政の責任です。</p> <p>市長は、2017富士市子育てガイドに『子どもが健やかに育ち安心して子どもを生き育てることができるまち ふじ』を目指し、さまざまな事業に取り組んでおります。子どもは、未来を築く“宝”です。子どもが笑顔いっぱい健やかに育つためには、保護者の愛情はもちろん、地域社会全体で子育て家庭をやさしく見守り、応援することが大切であると考えております。今後も、『子どもの最善の利益』の実現を第一に考え、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援の充実を図ってまいります。」と述べられています。</p> <p>子育てしやすいまちは、行政の温かさを感じます。</p> <p>子育て支援の充実を求めて以下質問いたします。</p> <p>(1) 平成29年度現在の待機児童は37人だが、待機児童を解消するためにどうしていくのか。</p> <p>(2) 保育料の軽減について、ゼロ歳から小学校就学前（年長クラス）までの間に通園している兄弟姉妹がいる場合、最年長の児童から2人目は半額、3人目以降は無料となっていますが、2人目から無料にできないか。</p> <p>(3) 子育て支援センターの増設について、就学前の子どもとその保護者が無料で利用できる施設で、市内には14カ所ありますが、身近な子育て支援施設として各地区に設置をしていくべきではないか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	笹川 朝子（3）	<p>(4) 児童館の増設について、ゼロ歳から18歳までの子どもとその保護者が無料で利用できる施設で、市内に3館と今年度4館目を予定していますが、子育て応援と中高生の居場所づくりに大切な施設として増設をしていくべきではないか。</p> <p>2. 保育士の処遇改善について</p> <p>安心して働ける処遇を保育士に保障することは、子どもの権利保障にとって不可欠です。保育園の開園時間が長くなり、11時間以上開園している保育園がほとんどです。ぎりぎりの職員配置で人手不足も相まって、保育士の労働時間は平均より長い傾向にあり、処遇も悪いため、子育て中の離職や非正規化が常態化しています。</p> <p>「保育園落ちたの私だ。保育士やめたの私だ。」と保護者や保育士の悲痛な叫びが上がりました。このような労働実態では、保育士がいくらやりがいのある仕事であっても、魅力ある職業であり続けることは難しいのではないのでしょうか。</p> <p>幼い子どもの成長・発達と子育て家庭を支える保育という重要な仕事を、専門職である保育士が誇りをもって進めるためには、保育士の処遇改善が必要です。ここを改善しないと保育士確保と待機児童の解消はできないのではないのでしょうか。</p> <p>平成29年4月1日現在、正規保育士158人、非正規保育士147人（うち産・育休代替30人）という現状です。</p> <p>これでは将来を見通した人生設計はできません。雇用の不安定化は保育士の問題にとどまらず、保育内容にも影響を与えるのではないのでしょうか。</p> <p>政府は規制緩和が中心です。保育士の処遇改善について、月額2%程度の増と決めましたが不十分です。</p> <p>子どもたちと生き生きと向き合えるようにするために以下質問します。</p> <p>(1) 正規職員と非正規職員の処遇にかかわる違いは何か。</p> <p>(2) 週休2日制が確保されているか。</p> <p>(3) 研修の時間は確保されているか。</p> <p>(4) 非正規保育士の処遇改善の取り組みについて</p> <p>3. 庵原斎場の利用料金について</p> <p>管外施設の庵原斎場（静岡市清水区蒲原）は、旧富士川町の住民にとっては身近な施設です。合併までは何の問題もなく当たり前のように利用してきました。合併後3年間は補助金が出ていましたが、その後は補助金がカットされ、静岡市の管外利用料金1体4万円の自己負担となりました。何とか無料にしてほしいとの声は依然としてあります。</p> <p>これまでの質問では、富士市斎場を利用すれば無料ですのでそちらを、との答弁の繰り返しでした。</p> <p>旧富士川町から富士市斎場までは遠く、近くの庵原斎場を選択したいのは当然のことです。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
19	笹川 朝子（3）	<p>富士市斎場の火葬件数は平成27年度、2361件、平成28年度、2465件で100件ふえています。</p> <p>庵原斎場の旧富士川町民の利用件数（率）は、平成27年度、95件（59%）、平成28年度、100件（63%）でした。</p> <p>庵原斎場の利用料金の助成は、旧富士川町民にとっては最善の市民サービスです。利用料金の助成について伺います。</p>	市長 及び 担当部長